

平成 23 年度第 1 回文化財保護審議会議事録概要

□日 時 平成 23 年 11 月 17 日（木） 14:00～16:00

□場 所 米子市淀江支所第 2 会議室

□出席者 (委員)

浅井秀子、神谷 要、喜多村理子、小原 顕、鷺見寛幸、畠中 弘、丸山柚美、
山藤良治、常松喜恵子

(事務局)

角次長兼文化課長、下高文化財係長、古山主幹、杉谷主幹

□内 容

- ・開会（杉谷）
- ・挨拶（角）：会議趣旨、項目説明
- ・議事

1. 役員改選

任期満了に伴う会長、副会長の改選を行ない、委員互選により、会長に小原 顕委員（前福会長）、副会長に田中秀明委員を選出した。

旧会長・畠中 弘委員は、昭和 55 年保護審議会発足以来の委員であり引続きの指導を依頼し快諾された。

2. 報告

1) 山陰豪雪被害と指定文化財復旧について（杉谷）

- ・倒木、屋根毀損等の被害があった。
- ・市所有文化財は市費災害復旧費、管理費にて対応。
（青木、福市、淀江御台場、米子城跡等）
- ・民有文化財は所有者の行う復旧事業に補助金交付対応（50%）。
- ・天然記念物粟島は県費補助事業で、危険性の高い家屋参道周辺整備復旧を H22 年度、植生環境復旧整備を H23 年度実施。（県 50%、市 25%）
- ・重要文化財後藤家住宅は、国県協議し、H23 年度復旧（県 50%、市 25%）
- ・天然記念物潮止め松は、県土管理分は所有者にて復旧プロジェクト対応。医大管理分は所有者処理。
- ・その他、補助制度に該当しない登録文化財坂口家住宅は、復旧への助言支援等に対応。
（NPO 法人夢蔵プロジェクトによる復旧支援仲介）

(質問等なし)

2) 米子城跡の整備

①追加指定について (下高)

- ・今年度6月議会において市長が「湊山球場を含めた地域を追加指定し、史跡公園として整備していくことが適当と判断した」と表明した。
- ・背景として、「史跡として保存するのが望ましい」との文化庁見解及び、医大から要望のあった湊山球場の駐車場利用に対し、「『国等の公共機関に対する地方公共団体の財政等健全化に関する法律』第5条(国等の要望に対し地方公共団体は無償で場所を貸したり金品を提供してはならない)に抵触する」という総務省見解とがあった。
- ・その後、8月末に「第5条の条項」が削除になったため、市長は再度9月議会冒頭で「関係機関と再協議して判断し進めたい」としたが、国の補助制度を活用しながら、買上げや整備を進める方向は変わっていないと理解している。教育委員会も同様の意向である。

(質問等)

浅井：追加指定地の買収について所有者の意向はどうか。買取りの可能性はあるか。所有者の代替りによって意向が変わる可能性はないか。

下高：買収に前向きと感じている。代替りで変わる可能性は少ないと思う。

山藤：「史跡公園」は法・条例に基づくものか、一般的な言葉か。規制を伴うものか。

下高：法、条例に基づくものではない。史跡を活かした整備の形である。史跡としての文化財保護法等での規制がある。

②樹木伐採について (下高)

- ・数年来、樹木の繁茂が著しいため、安来側から伐採等を行っており、この度市街地側に取りかかった。
- ・基本的に石垣保護のため石垣から2~3mを対象としている。また、豪雪による枝折れ等落下危険木の撤去も行った。ほぼ、昭和50年代に伐採した範囲にあたる。
- ・通常管理の一環と認識していたが、目立ったこともあり注目され新聞等でも取上げられた。

(質問等)

浅井：それぞれ専門分野の方との協議はされていると思うが、雪害報告も含め、なるべく早い段階での報告が欲しい。郵送でもいいから知らせて欲しい。

田中：米子城跡は山であるため他の史跡以上によく目立ち注目も集めたものであろう。「石垣を守る」という事前の周知があればよかったのではないか。

鷲見：ツル、クズの繁茂は早く樹木に悪影響を及ぼす。注視し早めの除去が望ましい。

神谷：早めに、こまめに切る方策を考えたらいい。

角：樹木伐採については市民・報道の理解不足もあった。周知理解の努力をしていきたい。今後、「整備検討委員会」などで広範な意見を集約し検討していきたい。

3) 淀江御台場公園の松枯れについて（下高）

・1本が松喰虫被害により枯死倒壊、撤去。周辺樹への恐れあり防除処置予算化検討。
(質問等)

畠中：御台場にはもともと松はなかった。史跡としては松は不要。

4) 米子市公会堂の整備について（角、下高）

- ・保存改修となり、基本設計策定の段階である。
- ・文化財の価値について文化庁見解を得た。現在、村野藤吾の建築物は国宝1、重文4。文化財的評価は高く、将来の指定候補の一つと認識されている。他の建築家作品とのバランスも考慮しながら検討されていくものである。

5) 文化財保存・保護事業補助金交付要綱について（別添資料）

3. 協議

1) 指定候補について

①文化財保護の体系（資料説明）

②文化財の指定（資料説明）

- ・地内にある文化財のうち「重要なもの」を指定。
- ・要素：優秀性（学術、歴史、技術等）、特異性、緊急性（損傷滅失、開発、継承者等）、意義・効果（地域文化振興）

③指定概況（資料説明）

- ・市の指定文化財は、単純に比較はできないが、内容的に遜色ないにも拘らず他市と比較して極めて少ない。保存活用の促進のためにも指定に向けた取組みを検討したい。

④経過等（資料説明）

⑤指定候補の検討（資料説明、検討）

杉谷：委員会でも指摘され、「準備のできたものから指定する」としている。準備の進んだもの、ある程度できているがあと一歩というものもある。今回おさらいという意味でも紹介し、共通の認識を持ってもらい今後の指定の参考にしたい。

「参考資料」に提示しているのは次のようなものである。

- 1) 審議会で提示されたもの
- 2) 鳥取県などの調査報告書に載ったもの
- 3) 米子市で基本調査を行ったもの
- 4) 『米子の文化財』（S60,H2）で紹介されたもの

5) 「新修米子市史」編纂事業による資料、情報の蓄積

6) 「よなごの宝88選事業」調査で注目されたもの

そういったものの中から指定になると思われるものを挙げておいた。

注目されるものは、

天然記念物では、梅翁寺菩提樹・ナギ:希少植物・霊木、中島神社クヅノキ:市内最大巨樹、青木神社カヅノキ:巨樹林、尾高城跡ユヅリ:珍木・巨樹、北平神社クヅノキ:巨樹・霊木、陰田ヤマモモ自然林:希少林。

建造物では、青木山川家住宅、旧米子変電所、水道山配水池など。

有形文化財では、水管橋:希少・歴史価値、木造狛犬:希少、芭蕉句碑:文芸資料、治水碑(米川):歴史価値、石馬頭彰碑:歴史価値、後藤車両工場碑:地域記念碑、大谷家墓地歴史性・緊急性(荒廃)、博覧会記念灯:産業振興記念碑など。

民俗行事では、セントロマトロ、マイマイ、サイカミ、リンゴン等がある。

浅井:今日の協議事項は何か。

指定にかける前に指定に近いものがあるということを協議して欲しいのか、どうい
うことを協議して欲しいかを、要約して分かりやすく説明して欲しい。

杉谷:このように主要なものが上がってきているので、それぞれのご専門の立場から、検
討して欲しい。調査が必要であればご意見をいただければありがたい。「指定候補参考
資料」の表の中で特筆できるものは太字で示している。

浅井:事前に資料送付があれば、これ以外のものもこんなものがあるというのが今日出て
きたと思う。今回、指定にかかりそうなものはどれとどれか。解説資料のある「狛犬」、
「水管橋」や「芭蕉句碑」がどうかとか、これ以外にないか、ということであれば
付けてある資料の中から意見もあると思う。

浅井:「水管橋」「狛犬」の資料があるとして優先順位があるということではないか。

杉谷:充分には整理できてはいないが、準備のできたものから指定していくとしている。
そのなかでここに挙げたものは注目されるもの、ある程度用意のできたものを紹介し
ている。

浅井:注目すべきものはどれか、資料として紹介してあるものか。

杉谷:建造物ではたとえば山川家住宅がある。県内最古の寺子屋であり、若干の改変はあ
るものの間取りなどが残っている。希少性と歴史的価値があると考えている。

角:少し補足する。

今日、何をしようかということで挙げてはいない。この場で指定候補を決めてしま
うということではない。一覧表に挙げた「指定候補参考資料」の参考ということで付け
たものであり、今後協議をしていただくというものである。なかでも「太字」にして
いるものは優先順位が高いのではないかと考えているものである。

今日優劣を付けるような議論にはならないと思っており、今回は紹介に留め、次回
ご意見をいただければいい。今回ご意見をいただければ今回ご意見を頂くことに留め

させていただく。という形でよろしいでしょうか。

小原：よろしゅうございますか。

どうでも今回言うておかなければならないということであれば、どうぞ。

浅井：ひとつだけ。資料提示してある「八幡神社の狛犬」は、せっかく審議会委員外の専門の先生に来ていただいて調査されているようですが、少し優先的に考えておられますか。

杉谷：おります。

浅井：そうであれば、保存状態や希少性もあるので、早めに審議会にかけるなり、優先的に考えた方がいい。

下高：今日、この場で決定というわけではないが、教育委員会として考えているのは、この資料があるが、これ以外にも漏れも当然あるかと思われるので、そういう意見も機会あるごとに教えていただければと思う。

(次回予定)

杉谷：年2回の開催を予定している。3月ごろには、今日の協議を踏まえた、もう少し絞り込んだもの、或いは指定にこぎつけられるものなどについて検討したい。

また、その前に、私どもは素人であり、全ての価値をわかって絞りこめるわけではないので、主要なものについて先生方ともう一度内容を現地確認し、意見を伺う機会を作りたいと思っている。先般、巨樹名木を巡った。早速、11月21日(月)に感応寺、総泉寺の石造物、青木の山川家住宅、三輪神社狛犬・随神などを巡るようになっている。それ以外にも都合がつけば機会をつくりたい。

浅井：日程は早めに教えて欲しい。